

第682回「医療」編集会議議事録

日時 平成19年5月18日 16:00-17:55

場所 於：東京 国際交流会館

◎出席者

湯浅, 伊藤幹事, 岩本, 河内, 川村, 菊池,
中村, 榛葉, 臼井, 柳下, 四元, 菊地, 北村
坂蓋, 久本, 佐々木 (第一資料印刷)

◎審議事項・要旨

- ・新しく編集委員となった岩本郁子委員より挨拶があった。
- ・第681回の編集会議議事録を確認し, これを承認した。
- ・医療第61巻6号の仮綴誌の確認を行い, 一部訂正を行った。
- ・編集室より5月17日現在の原稿収集状況の報告があった。原稿の保有数は45編(総説1編, 原著編, 報告6編, 特集20編, シンポジウム14編, 未分類3編)である。
- ・総説1編, 原著1編, 報告1編, 特集20編, シンポジウム17編, 未分類3編の査読結果の審査を行い, 別紙の通り9編を受理することとした。

- ・医療61巻8号の掲載内容の審議を行い, 一部変更のうえ承認された。8号でとりあげる「今月の用語」の候補として「PTP」が挙げられた。
- ・学会ホームページを国立病院機構本部の臨床研究支援・教育センター(CSECR)のサーバー内に移行することについて伊藤幹事より説明があり, 承認された。
- ・塩田賞授賞論文については国立高度専門医療センター, ハンセン病療養所, 機構病院の全施設長に推薦を依頼し, 6月上旬頃を締め切りとしてFAXで回答していただいた結果を6月または7月の編集会議で討議する予定であることが報告された。
- ・投稿規定改訂委員会と「今月の用語」委員会の担当編集委員について資料が提示され, 湯浅委員長, 榛葉副委員長より説明があった。
- ・広告掲載依頼のための趣意書が提示され, 一部変更のうえ承認された。
- ・施設長への原稿(総説・論説)執筆依頼については関連全施設あてに行うことが確認された。
- ・シリーズ「ナース—これからのスタンダードをめざして」について報告があった。年3回程度(テーマ4編前後)の掲載をめざし, 8月掲載を目途にすすめていく案が提示され, 了承された。

本誌に関するご意見, ご希望がありましたら編集室までご連絡下さい。

7号掲載予定目次

■ 総 説	
パーキンソン病における熱性ストレス症候群—それはより本質的な問題である—	湯 浅 龍 彦 ほか 205
■ 原 著	
虚血性心疾患発症に及ぼす経口血糖降下剤の影響	宮 崎 浩 行 ほか 205
非定型奇形腫瘍/ラプドイド腫瘍の診断における fluorescence in situ hybridization を用いた 22番染色体長腕欠失検出の有用性	曾 根 美 智 子 ほか 205
■ 総合医学会報告	
シンポジウム: 患者の目線に立った医療の実現を目指して	座長 松 本 純 夫 318
(1) 医師の立場から患者目線の医療とは	冷 牟 田 浩 司 318
(2) 地域医療と患者目線医療	小 野 池 千 秋 318
(3) 患者の目線 記者の目線	木 村 彰 318
■ 報 告	
[座談会] 国立病院機構への期待—筋萎縮性側索硬化症(ALS)医療の新たな枠組みと地域医療支援	溝 口 功 一 ほか 205
■ 共同研究班報告	
慢性神経筋疾患における PEG の安全性と管理についての再検討 —国立病院機構の神経内科病棟における PEG 造設と管理の現状—	野 崎 園 子 ほか 205
■ 資 料	
国立病院11施設による周産期統計(2005年)	明 城 光 三 ほか 205
■ 図 説	
リハビリテーション技術シリーズ ⑦ 脳血管障害患者の食事動作の援助技術	藤 塚 史 子 ほか 205
■ 日本発☆世界のくすり ⑦	
カルバペネム系抗生物質 フィニバックス®開発物語—ドリペネム注射薬—	278
■ 会 報	
編集余滴 編集会議議事録 図書紹介	282

バックナンバーは1冊 850円で購入可能です。発行所までお問い合わせ下さい。